

## レイヤー機能を使って、絵が苦手な子も、納得できる授業

—フリーソフトを使って、写真や絵の上に描いたり消したり—

群馬県高崎市並榎中学校 教諭 中澤 照幸  
nakazawa5199@ted.city.takasaki.gunma.jp

キーワード：美術、顔の比率、レイヤー、GIMP Portable、電子黒板

### 1. はじめに

#### (1) 苦手意識「私って、絵が下手だから、、、」

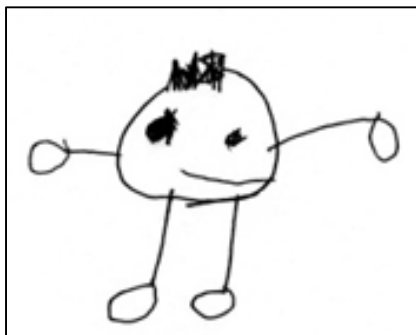
小学生高学年くらいから、人物を描くことに対して苦手意識を持ちやすい。それは、よく見て描いたつもりが、自分のイメージとかけ離れて見えるからである。小学校高学年くらいから、客観的に見る目がだんだんと育ち、客観的に見えない自分の絵は、間違っていると解釈してしまいがちだ。

この時期の子どもたちに対して、「あなたの作品は独創的で素晴らしい」とか、「自分だけの解釈や表現を大切に」と教師は教えるが、子どもは、なかなか納得しない。「どうやったら本物らしく描けるのだろうか?」「よく見たって、なかなか本物らしく描けないぞ!」と考え、本物らしく描けない自分は、才能がないのだろうかと考える生徒もいる。

そんな子どもに対して、「細かい所まで、よく見て描こう。」と指導してしまうことがある。よく見て描けば、少しずつ上手になっていくのは、間違いではない。しかし、この指導では、「描いては、消して、描いては消して」ばかりの自信のない子どもには、不十分かもしれない。

#### (2) 「よく見て」描くと上手になるの?

右の絵は3歳から4歳くらいの子がよく描く絵である。生徒にこの絵を見せると「あはは、おかしいや」と笑われることもある。



そんな生徒に、「私もあなたも、全ての人が同じような絵を、子どもの頃に描いてきているのですよ。この絵は、頭足人と呼びます。」と紹介する。3・4歳くらいの子は目や口などは、意識できるものの、胴体には意識が行かない。つまり、「意識しないものは、省略したり小さく描いてしまいがち」であり、逆に「意識が高いものは、大きく誇張して描いたりしやすい」のである。幼児の例で言えば、意識の低い胴体は省略されたわけである。逆に目などは印象が強く、意識が高いので、その分大きく描きやすい。

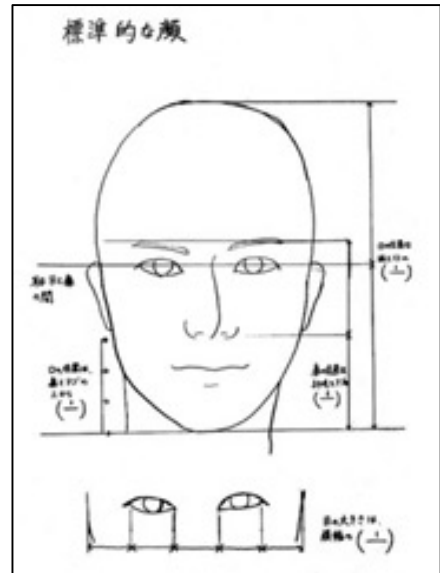


次に客観的な目が育った大人の場合はどうかという

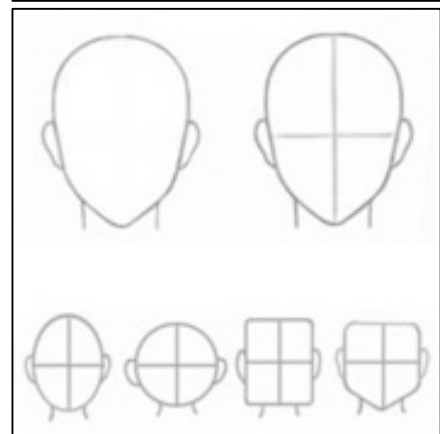
と、上の絵の通り、大人でも普通に描くと目を上の方に描いたり、頭を小さく描きがちである。それは、目や口に比べれば、頭はあまり意識の上では高くない。客観的な目が育った大人でも、意識が低い頭は小さく、省略して描いてしまいがちなのである。

#### (3) 比率を知ることによる重要性

そこで、体の比率を知ること、均整のとれた体型が描きやすくなることを理解することが重要になる。例えば、「目の高さは顔のほぼ中心である」。これを意識しておくだけで、頭が小さく描かれてしま



まうことを防げる。プロである漫画家が、顔に十字を入れているのを見たことがある人も多いだろう。口や鼻などのパーツの比率も実は、ほとんどの人が同じ比率であり、大きく違うということはない。だから線を入れておくと、顔の比率を把握しやすい。

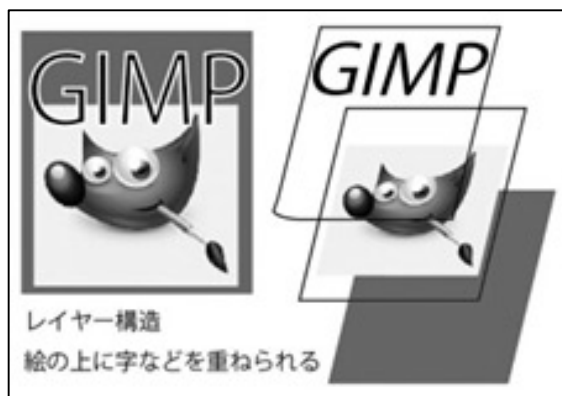


そこで今回は、「人間の基本的な顔の比率を知ることによって、表現技術を高める授業」を考えた。少しでも描き進めることができれば、自信を持ち、やがては創造的な表現や思いを表す作品制作も可能になるであろう。

### 2. レイヤー機能を使ってみる (フリーソフト GIMP Portableを使う)

レイヤー機能とは、透明なシートの上に、絵や図、文字などを重ねる機能である。(例として、ポスター

の絵の上に描かれた文字を、文字だけ大きくしたり移動したりできる）（下図）



この機能を使って、生徒と一緒に絵を一から描いていく授業を考えた。

①白い紙に、顔の大まかな形を描かせる。正面からの場合は卵型。側面からは四角で。

②黒板に直接チョークで描くように、スクリーンに絵を描いていく。（電子黒板ユニット参照）写真の上に（上レイヤー）描いて、その後、写真レイヤーを消すと、描いた部分だけが残る。目鼻口など描く所の比率を確かめながら書いていく。



③背骨やガイコツも表示し（透明度50%くらいで）、背骨やガイコツに沿って線が引けていることを確認する。



④生徒が描いた作品を、新規レイヤーにして当てはめて、ガイコツに沿って描けているか確かめることもできる。

### 3. 電子黒板ユニットを使う（補足）

電子黒板(EPSON ELPIU02)を使うと、黒板にチョークで文字を描くように、直接スクリーンに描くことが可能。マウスと違い、直接描けるので、絵を描く時には特に便利。○や曲線はマウスでは描けない。（描けても直線的になってしまう。）

### 4. GIMP Portable 2.6について（補足）

GIMP Portable(FreeSoft)は、パソコンにインストールしなくても使用可能。学校のパソコンなどソフトのインストールができないPCでもUSBメモリーなどに入れておけば使える。（私はUSBで利用）



GIMPはフリーソフトなので誰でも利用可能。Macも可。

注意：LANで繋いだサーバーなどに、ソフトを入れておくと反応が遅いので、高速なUSBメモリーに入れるのを推奨。

### 5. 実践の結果（平均的な顔を知ることは、、、）

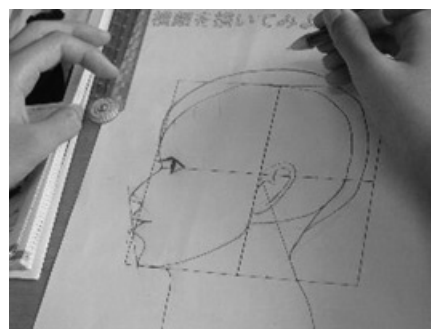
顔の絵を描くことに対して、苦手意識を持つ生徒も、「描いては消し、描いては消し」ということは無くなってきた。「とりあえず、



目の位置は顔の真中で～」ということは理解しているので、描き始めることができています。また、基準となる顔（平均的な顔）の比率を覚えておくと、個性的な顔や、その人らしさを表現することにも、役立つことが分かった。やがて、生徒達が自分なりの表現方法や個性的な描き方を発見するようになれば、美術科が目指す、「自己表現の実現」にも繋がっていくと考えられる。

以下に生徒の授業の感想を抜粋する。

○理想的な比率を覚えておくと、より客観的に描くのが楽になった。



○先生に言われるとおりに描いたら上手に描けた。

上：生徒作品  
○人物を描くことに自信が持てるようになった。  
○どんな顔を描く時にも、比率を意識して描くことの大事さがわかった。  
○私の口は普通より大きいことがわかった。など